

学校支援地域本部の更なる深化

～「学校支援地域本部」から「高知県版地域学校協働本部」への展開～

高知県教育委員会生涯学習課

H29モデル7校の取組

●モデル7校

赤野小（安芸市）、野市東小（香南市）、稲生小（南国市）、土佐町小・中（土佐町）、大月小・中（大月町）、西部中（高知市）、五台山小（高知市）

A校



B校



C校



D校



E校



F校



G校



高知県版 地域学校協働本部の3要件

1. 充実した学校支援活動の実施（現在の活動の拡充） ☆ 4種類・累計100日以上为学校支援活動
2. 学校と地域との定期的な協議の場の確保 ☆ 学校と地域が学校の課題を共有し定期的に話し合う場を確保
3. 民生・児童委員の参画による見守り体制の強化 ☆ 見守りの仕組みづくり（4つの見守り体制）
☆ チーム学習会の実施

※7モデル校それぞれに、高知県版の趣旨に沿った特色ある仕組みや工夫した取組を実施。（7つの形・工夫がある）

※7校それぞれが取組を推進した際のノウハウをまとめたモデル事例集を作成し、全小中学校に配布。

H30市町村推進校の取組

- 各市町村でまず1校から、モデル校の様々な形を参考に、高知県版地域学校協働本部（市町村推進校）の設置に取り組む。
- （重要）各市町村の教育委員会・福祉部門、県の教育委員会、地域福祉部（児童相談所）、民生委員児童委員連絡協議会等（5者）の協力により取り組む。

☆市町村の実情に応じ3要件の趣旨に沿った取組を実施

A校
(推進校)



※H30に取り組んだ経験を基に、5者でH31以降の設置計画を検討する(12月)。

H31～ 市町村内の他の小中学校へ展開

☆A校の取組を参考に、市町村内の他の学校へと取組を広げていく。

